

三島村・鬼界カルデラジオパーク 2024 鹿児島県 三島村 カレンダー



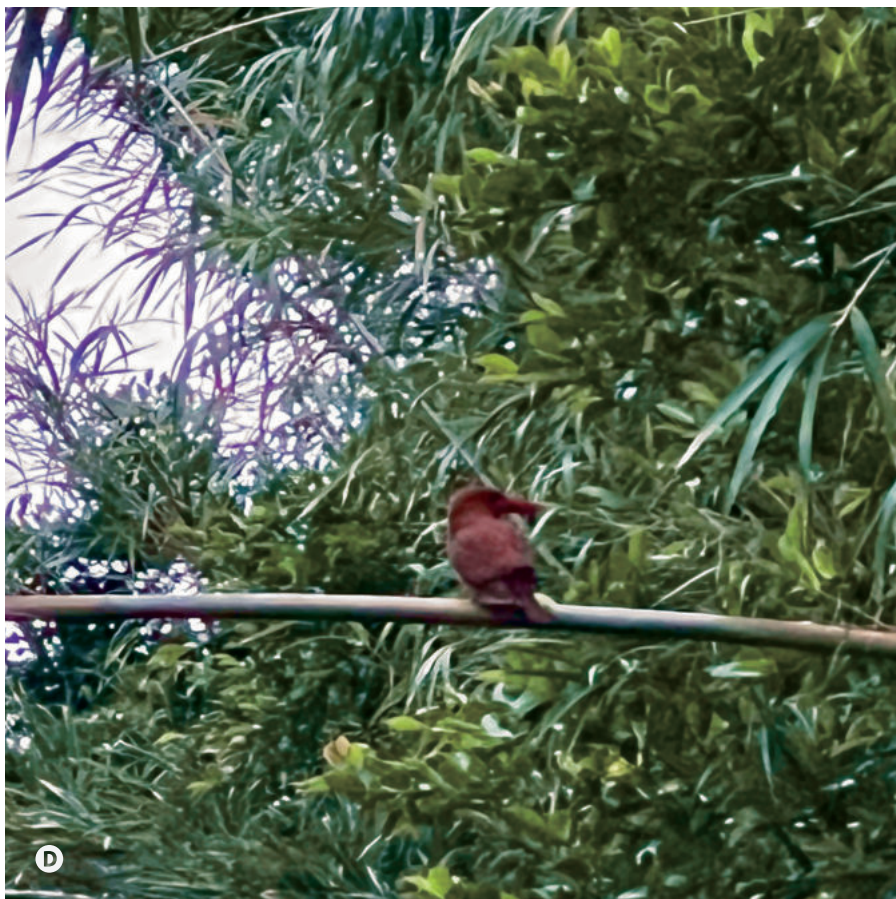
※写真は形態の参照用。硫黄島の撮影ではない



※写真は形態の参照用。沖縄本島で撮影



C



D

硫黄島

はねのある生き物

Dのアカショウビンは2023年5月に硫黄島で撮影。**A**アカショウビンは赤く長いくちばしが特徴の渡り鳥。3月下旬から4月初めに南西諸島に飛来し始め、繁殖地である日本列島の山林をめざす。三島村では繁殖しないと考えられるが、黒島で繁殖の鳴き声を聞いたという声もある。2019年、宮古島の個体はフイリピンでの越冬が確認された。

渡り鳥が移動するのは「翼があるから」とする説明がある。渡り鳥の生活範囲は羽のおかげで海をも含み陸で暮らす私たちの想像を超えてはるかに広い。その広大なワールドで生存や繁殖に適した暮らしを求めたとき、最適な場所へ移動するスタイルに行きついたのだろう。

ただし、長距離の移動には危険が伴う。渡ってきた鳥は疲れきっており、道路を無防備にふらふらと歩くこともあるという。その危険を冒しても、渡り鳥にとって「渡り」は有益な暮らし方であるようだ。

一方、翅（はね）のある生き物で**B**アオタテハモドキや**C**ウスシキロチョウのように風に乗って硫黄島に來る蝶もいるが、その行動原理は鳥と異なる。鳥は住み良い環境を求め、意志をもって移動するが、この手の蝶はただ風に流されているだけらしい。

これらはねのある生き物の行動は一見同じに見える。しかし意志をもって効率的に動く鳥と、大量の遺伝子を運まかせにばらまく昆虫と、同じ子孫を残す目的をもちながらも、その生存戦略はまったく異なるようだ。

出典

順不同 敬称略

表紙『はねのある生き物』

【協力依頼】鹿児島県立博物館 中峯敦子、上舞哲也
【写真提供】中村京平・写真 AC、更新日付不明。
<https://www.photo-ac.com/>（参照 2023-09-23）
【参考文献】先崎理之・梅垣佑介・小田谷嘉弥・先崎啓亮・高木慎介・西沢文吾・原 星一（文一総合出版・2019）『BIRDER SPECIAL 日本の渡り鳥 観察ガイド』

1 月『硫黄島の迷チョウ』

【協力依頼】鹿児島県立博物館 中峯敦子
【取材協力】中村京平
【写真提供】中村京平
【参考文献】金井賢一『三島のチョウの分布に関する一考察』、2015, p. 13. / 福田晴夫・守山泰司・金井賢一『鹿児島県三島村の硫黄島及び竹島のチョウ類 2015 年の調査結果とチョウ相成立史の検討』、2015, p. 2-5.

2 月『瑞鳳山清月寺と廃仏毀釈』

【取材協力】日高寛
【写真提供】三島村
【参考文献】鵜飼秀徳（文春新書・2018）『仏教抹殺『なぜ明治維新は寺院を破壊したのか』

3 月『硫黄島の渡り鳥』

【協力依頼】鹿児島県立博物館 上舞哲也
【取材協力】中村京平・上堂泰輔
【写真提供】中村京平・写真 AC、更新日付不明。
<https://www.photo-ac.com/>（参照 2023-09-18）
【参考文献】先崎理之・梅垣佑介・小田谷嘉弥・先崎啓亮・高木慎介・西沢文吾・原 星一（文一総合出版・2019）『BIRDER SPECIAL 日本の渡り鳥 観察ガイド』

4 月『竹島の発電所』

【取材協力】日高光子・日高賢二・山崎晋作
【写真提供】三島村
【参考文献】三島村誌編集委員会（編）（1990）『三島村誌』/ 電気事業連合広報部．" 電気 の 歴 史（日本の電気事業と社会）．昭和後期 -2（1975 ～ 1979 年）．電気事業連合広報部、更新日付不明．
<https://www.fepco.or.jp/enterprise/rekishi/shouwa1975/index.html>（参照 2023-09-14）/ 経済産業省 資源エネルギー庁．" 第 1 部 エネルギーをめぐる状況と主な対策 / 第 1 章 明治維新後のエネルギーをめぐる我が国の歴史 / 第 3 節 1940 年頃～．経済産業省、更新日付不明．
<https://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/2018html/1-1-3.html>

5 月『竹島の漁具』

【取材協力】日高忠一・堀江由樹・安永瞳
【写真提供】三島村・堀江由樹
【参考文献】三島村誌編集委員会（編）（1990）『三島村誌』

6 月『大里の籠』

【取材協力】米盛レイ子・上國路スキ子
【写真提供】三島村
【参考文献】三島村誌編集委員会（編）（1990）『三島村誌』

7 月『カツオ漁船・黒島流れ』

【写真提供】三島村
【参考文献】三島村誌編集委員会（編）（1990）『三島村誌』/ 静岡県水産試験場（1986）『カツオについて - II カツオ漁業の歴史』、
https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/04library/4-7/pdf/hekisui/hekisui_035.pdf、（参照 2023-09-10）/ 茶屋道久吉．" 明治時代の台風「6 月流れ」について "．『日本気象学会機関誌「天気」』、1955, p. 128. / 伊集院（茶屋道）久吉．" 明治時代の台風「6 月流れ」について（その 2） "．『日本気象学会機関誌「天気」』、1958, p. 14-15.

8 月『ミシマイオウノコギリクワガタ』

【協力依頼】鹿児島県立博物館 中峯敦子
【取材協力】中村京平
【写真提供】中村京平
【参考文献】三島村誌編集委員会（編）（1990）『三島村誌』/ 細谷忠嗣（2011）『トカラ列島におけるクワガタムシ科甲虫相の形成史に関する研究』、
<https://kaken.nii.ac.jp/ja/file/KAKENHI-PROJECT-20770069/20770069seika.pdf>、（参照 2023-09-21）

9 月『黒島のセミ』

【協力依頼】鹿児島県立博物館 中峯敦子
【取材協力】中村京平・山田馨
【写真提供】中村京平
【参考文献】福田晴夫・廣森敏昭．" 鹿児島県三島村黒島 2001 年 6 月の昆虫類 "．『鹿児島県立博物館研究報告（第 21 号）』、2002, p.43.

10 月『大里の水道』

【取材協力】日高寛
【写真提供】三島村
【参考文献】三島村誌編集委員会（編）（1990）『三島村誌』/ 鹿児島市（2022）『鹿児島地区水道事業の広域連携に関する検討会報告書』、
<https://www.city.kagoshima.lg.jp/suido/soumu/sdkeikanri/documents/suidou-kouikirennkei.pdf>、（参照 2023-09-17）

11 月『リュウキュウチクの花』

【協力依頼】鹿児島県立博物館 金本直子
【取材協力】寺田仁志・山崎晋作・折田恵美子
【写真提供】山崎晋作・写真 AC、更新日付不明．
<https://www.photo-ac.com/>（参照 2023-09-15）
【参考文献】岡浩平．" クローナル植物に学ぶ人生術 "．『生物工学会誌-91 巻 5 号』、2013, p. 256. / 宮崎祐子・大西尚樹・日野貴文・日浦勉．『開花特性と遺伝構造が示すササ類（オモエザサ）の非一回繁殖性』、2010, p. 256. / 陶山佳久・鈴木準一郎・蒔田明史．" タケ・ササ類の一斉開花に関する一考察 "．『日本生態学会誌 60』、2010, p. 97 - p106 / 名古屋大学（2022）『ササの一斉結実による森林性野ネズミの個体群への影響を解明』、
https://www.nagoya-u.ac.jp/researchinfo/result/upload/20220621_agr.pdf、（参照 2023-08-26）

12 月『塩手鼻の植物』

【協力依頼】鹿児島県立博物館 金本直子
【取材協力】寺田仁志
【写真提供】中村京平・写真 AC、更新日付不明．
<https://www.photo-ac.com/>（参照 2023-09-13）
【参考文献】寺田仁志『鹿児島県・黒島の植生と現存植生図』、1996, p. 10.